

平成 26 年 12 月 15 日

神奈川県知事 黒岩 祐治 殿

渋沢丘陵を考える会

**相模メモリアルパーク第2霊園(秦野・渋沢地区)開発事業
エノキの移植についての質問と要望**

八国見山南面に巨大霊園を作る計画に対して「渋沢丘陵を考える会」は反対を表し続けております。公聴会において、市民の意見は反対のみでありました。当会の結成以前にも、秦野市民が多数の反対署名を集めて、市に対して提出したという事実もあります。

しかし、神奈川県森林審議会において、県は「地元の特段の意見はない」と資料を作成しました。秦野市にこの件を問い合わせたところ、「県からの照会がなかったから」との答えでした。そこで県に対して公文書虚偽記載ではないかと抗議しましたが、県の担当者は「照会の項目がなくても記載する責任が市にはある」と言っています。このようないい加減な状態にもかかわらず、残念ながら工事は許可され着工してしまいました。

12月14日に現地を視察したところ、業者が移植すると言っているエノキの回りにはテープが張られていました。オオムラサキが多数発見されたエノキです。この大木を移植して成功するとは考えにくいものです。そこで、以下の質問と要望をするものです。

質問：エノキの移植作業の予定とオオムラサキの具体的な保護対策を明らかにして下さい。

現在エノキは葉をほぼ落としています。下に落ちた葉の裏にはオオムラサキの幼虫が多数存在していると考えられます。まだ枝に残っている幼虫もいると考えられます。幼虫への配慮なしに今移植作業をすれば幼虫が死んでしまいます。移植する前に幼虫保護の対策をとる必要があります。移植作業の予定と具体的な保護対策を明らかにして下さい。

また、幼虫の保護については当会の会員も効果的な方法を考慮中です。作業に当ってはチョウ類の専門家や当会の意見を取り入れて下さい。

この質問に対する回答はエノキの移植より前に頂かなければ意味がありません。早急にご回答下さい。また、幼虫保護の対策なしに移植作業を行うことは絶対にやめるよう、業者への指導を徹底してくださるよう、強く要望いたします。

以上

本件に関する問い合わせ及び回答は

〒257-0012 秦野市西大竹 302-11 鈴木和郎 TEL・fax 0463-81-9109

にお願いします。